

# あきはくはつものがたり

令和 3 年 3 月 21 日  
発行：秋葉区自治協議会  
編集：広報部会

アキハスプロジェクト

Facebook、ホームページ  
でも情報発信中！

『発』 秋葉区から発信する数々のイベント  
『初』 秋葉区から始まった数々の誇れるもの  
『抜』 抜き出ている素晴らしいもの

第 1 部会提案事業

## きらめきサポートプロジェクト KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem Report

### Report 01 秋葉ひなめぐり

【小須戸レポート】 「在郷町小須戸ひな・町屋めぐり」  
(小須戸コミュニティ協議会)



会期中初めての週末は春を思わせる穏やかなお天気に恵まれ、ピンクののぼり旗が町の中をいっそう優しく彩っていました。メイン会場の町屋ギャラリー薩摩屋には七段飾りが、また旧町屋カフェわかばには昨年大好評の田辺さんの手作りのお雛様が展示され、華やかな空間を創り出していました。聞けば、多くの方が訪れていて、この催しへの関心の高さを感じました。なお、このひな・町屋めぐりは、平成 29 年 2 月に冬のイベントとして、折り紙の雛壇飾りと吊るしびなを町屋ギャラリーに展示したのが始まりと薩摩屋企画委員の方から伺いました。また、「うららこすど」には吊るしびな 50 個が展示されました。それらは、新津地区の吊るしびなを見て「ぜひ小須戸でも飾ろう」と心動かされたコミ協事務局長の思いに賛同した 28 団体約 500 人の人々によるものです。多くの人の関わりを実感しました。

<長谷川 啓子 記>

【新津レポート】 「折り紙で作る吊るしびなの競演」  
(新津中央コミュニティ協議会)

昨年も大好評でした「折り紙で作る吊るしびな」の競演が、令和 3 年 2 月 1 日（月）～令和 3 年 3 月 7 日（日）の日程で、新津地域交流センター 1 階イベントホールにて開催されました。



雛飾りを折り紙で作るため、年齢や性別に関係なく参加でき、また各々が自由に工夫を凝らして作れるところが醍醐味で、昨年以上に多くの保育園・幼稚園・小学校・中学校・高齢者施設・町内の方々等から、ご協力をいただきました。集まった吊るしびなは総勢 44 個。訪れた方からは思わず歓声が上がる程、ホールは色とりどりの雛飾りでいっぱいになりました。また足を止め一つひとつを眺める人も多く、どれも心と愛をこめて作られたお雛様たちに、来場者からも笑みがこぼれ、会場は温かい空気に包まれていました。

<宮腰 由紀子 記>

## まんが ジチキョーの コウちゃん 第 5 回



【プロフィール】  
ジチキョー 2 期目の 70 歳  
愛犬のトイプードル樹里ちゃん  
とのお散歩が日課

作者：necoco

新潟まんが事業協同組合「ガタまん」に所属。  
イラストやマンガのご依頼をいただいで制作  
しています。海洋生物や動植物が好きです。



「アキハスプロジェクト」のお揃いのポロシャツを着用して、秋葉区の PR をしながら活動しています。

このロゴマークは「楽しく秋葉区に住む」ということで、家が微笑んでいるように「AKIHA」の文字をタテに並べたものです。



石油の世界館へ行く  
自治協も秋葉区げんき！宣言  
石油の世界館へ行ってみたいけどどうして？  
今年度は色々なことがありました  
コロナで大変でした  
リニューアルしたんだよ  
自治協も頑張りました  
展示映像がきれいになって説明も分かりやすくなったんだよ  
秋葉区！ さつきちゃんとゆうたくんが PR する  
それはすごい  
早速明日行ってみようかな  
早くもまた行ってみたいかな

### 編集後記

今年度最終号「あきはくはつものがたり」は自治協議会の 1 年間の活動報告となりました。予定していた様々なイベントが自粛となり、三密を避けて新しい生活様式が求められる変革の一年。我慢ばかりを強いられ、苦しい思いで終わるのではなく、秋葉区の魅力を活かした「できる」を探し、この一年企画運営されてきました。私自身も自治協委員になるまで知らなかった秋葉区の宝を知る様々な活動がギュッと詰まっています。人との関わり、イベント、地域振興・・・元通りとはいかず、コロナ禍の課題は山積ですが、少しでも笑顔になれる活動を続けていきたいと願っています。  
「あきはくはつものがたり」にご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。そして、読んでいただきありがとうございました。  
<佐々木 美佳子 記>

### 募集しています！

かわら版や自治協議会活動についてのご意見、ホームページに掲載してほしい情報を募集しています。住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記自治協議会事務局宛てに郵送、FAX、またはメールでお送り下さい。

〒956-8601 (住所記載不要)  
秋葉区役所 地域総務課 企画グループ  
FAX / 0250-22-0228  
メール / chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp





## Report 02 秋葉山地区 MTBコース作成 (秋葉区田家2丁目町内会)

田家2丁目町内会が主体となって、地区内の秋葉山公園第2キャンプ場とその周辺にマウンテンバイク(MTB)コースを造成しています。

昨年中に初心者、中級者用コースの伐開作業がほぼ完了し、今後は仕上げ、走行試験の実施、さらに上級者用コースも開設する計画です。コースはキャンプ場および遊歩道などを利用する一般の人達が接触しないよう配置され、秋葉山の自然環境が守られるよう配慮されています。公園がより美しく利用しやすくなりますので、秋葉区内外から多くのMTB愛好者や公園利用者が訪れ、地域活性化に繋がっていくことを大いに期待しています。



<伊藤 直 記>

## Report 03 防災手帳の作成・配布及び活用のための防災講習会等の開催 (新潟市防災士の会 秋葉支部)

秋葉区では昨年の暖冬少雪から一変し、観測史上最多の豪雪となり、死傷者や建物の倒壊、また、通勤通学は勿論、日常生活にも大きな支障が発生しました。自然災害は予測できても防ぐことはできません。しかし、訓練や防災の意識を高揚することで、被害を軽減する減災も可能であります。

この度、新潟市防災士の会秋葉支部と秋葉区自治協議会の協働で『秋葉区防災手帳』を作成しました。手帳には、自然災害から命を守り被害を減災するための具体的な行動を示しています。手帳は全世帯に配布しますし、秋葉区のホームページからダウンロードも出来ます。この手帳を活用して、家族で話し合い、災害発生時の約束事を決めておきましょう。また、防災士の会はコミ協や自治会などの防災訓練や防災研修会のお手伝いをいたします。



<青木 貞義 記>

## Report 04 『新津の大庄屋 桂家』の出版 (新津郷土に親しむ会)



郷土新津にとって歴史的遺産となったはずの『新津の大庄屋 桂家』。それに関するまとまった書籍がないということで始まった書籍化が4年の歳月を経てついに形となった。

初期の予定を大幅に増やして A4 縦書き 2 段で 274 ページの大作となった。この書籍化で次々と新事実が発掘されてきたため今後も調査・研究活動は継続しそうである。また、書籍の執筆に合わせて田家地区ではすでに町歩きガイドの活動が動き出した。町なかでは全く痕跡が見つけれなくなった桂邸であるが、この書籍を活用しての活動が活発化されることを希望している。この出版が将来的に新津の町興しに少しでも寄与できれば幸いである。

<小林 俊介 記>

## 第2部会の活動を振り返って

### 【生活交通改善】

「不便さを感じているものの日常生活に支障をきたすほどではない。移動手段が無く日常的に困っている方々への対策も取り上げるべきではないか。」という認識に至りました。今後は、区内の実態を調査・分析し、サービスを活用できる環境づくりに知恵を絞っていききたいと思います。

### 【地域と福祉施設との連携】

既に福祉施設と連携して活動しているコミ協があることと秋葉区社協が地域と施設との交流・連携について取り上げる予定であることが明らかになりました。今後は地域へ、これらの情報を発信するとともに防災手帳を活用した防災士の会の活動を紹介し、地域と福祉施設が連携して防災に取り組む意識を高めていききたいと思います。

<佐藤 喜代一 記>



第3部会提案事業

### あきは子ども大学 とは

秋葉区の特徴や伝統、魅力を継続的に体験し、地域に親しみ、興味、関心を高め、主体的な学びの場となるように企画しました。

新型コロナの影響を考慮し、密を避けるため、今年度は「金津焼陶芸体験」と「新津工業高等学校の見学」の2班に分けて実施しました。

陶芸体験では、陶芸家の押味修氏より指導をしていただき、子供達は手で粘土を捏ねたり、叩いたりして思い思いの皿やカップを作りました。秋葉区で学べる伝統技術に興味を持ち、その技術の一端を体験しました。

新津工業高等学校の見学では、教頭先生と日本建築科の加藤先生お二人より校内を案内していただき、釘を使わず木材だけで作った茶室や、大工さんが実際に使用している道具類を見せてもらいました。また、コントローラーを使ってロボットを操作させてもらったり、金属を1μ(ミクロン) およそ髪の毛の太さの1/10位まで削る作業も見学しました。日本の物作り技術は「ハヤブサ2」の部品にも使われ成功を支えています。工業高校には普通高校にはない技術教育が行われていて、子供達の未来に繋がる学びの機会になったと思います。

<伊藤 治好 記>



いつも秋葉区自治協議会の活動にご支援を賜りありがとうございます。お陰様で7期目も住民目線の多くの意見を行政に届けることができましたし、4つの部会の活動を通して、多くの方々のご協力をいただきつつ、様々なプロジェクトを地域の中に起こし、発信することができた2年間だったと思います。これからも草の根の視点で秋葉区を見つめ、議論と行動を通し、協働によるまちづくりを切り開いていける存在でありたいと願います。

<自治協議会 会長 金子 洋二 記>



まちづくりに明るい金子会長の下、順調にスタートした7期でしたが、途中からコロナの影響を受けながらの活動になってしまいました。自治協は、区民と行政の協働の要。秋葉区自治協は、区への熱い思いをお持ちの委員がたくさんいらっしゃるのが強みだと思います。これからは自治協に深く関心を寄せることで協力していきます。

<自治協議会 副会長 阿部 光子 記>

## 自治協議会からのお知らせ

秋葉区自治協議会では本会議、各部会を傍聴することができます。定員10名。直接会場へどうぞ。

【今後の会議開催日程】

●本会議 3月26日(金) 13:30～  
区役所6階 601・602会議室

※保育をご希望の方は、お問い合わせ下さい。地域総務課 Tel.0250-25-5672

※4月以降の開催日、会場は当月の「あきは区役所だより」をご確認ください。

●部会 本会議の後などに開催

※部会は、第1部会、第2部会、第3部会のほか、広報部会があります。

4月から放送時間が変更になります! /

## ラジオ版「あきはくはつものがたり」

毎月第2水曜日 12:00～  
(再放送 第2水曜日と同じ週の土曜日9:00～)

【今後の放送予定】

4/14(水)・17(土) 5/12(水)・15(土) 6/9(水)・12(土)

## 『クリック!秋葉区』内「自治協通信」

秋葉区自治協議会本会議の協議内容をお知らせしています。

ラジオチャット エフエムにいつ 76.1MHz